

.....
館園名 : 和歌山県立自然博物館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1982 年 7 月 27 日

所在地

・ 〒642 -0001 和歌山県海南市船尾 370 番地の 1

公式サイト

・ <http://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp>

設立主体

・ 和歌山県

運営主体

・ 和歌山県教育委員会文化遺産課 (所轄)

設立目的

・ 自然科学に関する資料を収集し、保管し又は展示して、一般公衆の利用に供するとともに、これに関する調査研究事業を行い、もって学術および文化の向上に資するために設置された。

展示概要

・ 水生生物や、動植物、昆虫、貝、化石・鉱物などの標本などを収集。第一展示室は水族館コーナー、第二展示室は標本や模型を中心とした展示になっている。

活動概要

・ 上記の展示のほか、夏季には特別展を開催。レクチャールームでの図書の閲覧・映画の上映・自然観察会の開催。講演会の開催。
・ 「自然博物館だより」「ガイドブック」の発行。
・ 「自然博物館友の会」など。

延床面積

・ 2,613.87 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 16 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

・ 64,491,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 8,000 点 (2004 年 12 月現在) 標本含む

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：和歌山大学教育学部ミュージアムボランティア

活動目的・経緯

・平成15年3月、和歌山大学教育学部と和歌山県教育委員会の相互連携の一環として結ばれた協定の下、県立博物館施設における学生によるミュージアムボランティアが開始された。文化振興の拠点および生涯学習の場である博物館施設の活動を学生に体験させ、将来の文化の発展を支える人材を育成することを主な目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 14 名（2004 年 5 月現在）
- ・ 男性： 3 名、女性： 11 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004 年 5 月現在）

- ・ 部局名称： 学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 干潟動物の標本登録作業。
- ・ 海産無脊椎動物の液漬標本の登録作業。
- ・ タッチングコーナーにおける解説・観察指導。
- ・ 植物さく葉標本の整理。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：干潟動物の標本登録作業

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 4 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 新規受託コレクションの導入作業および標本と保存液のチェックとメンテナンス。
- ・ 種別標本管理台帳への記入。
- ・ ただし、コレクションに含まれる各標本は、事前に同定確認済み。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 独自予算なし。双眼実体顕微鏡常備、その他図書等の関連設備は、ほぼ自由に利用可。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ メールによる。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修 1 回（博物館における標本の価値、標本管理の意義の説明と実務実習）。
- ・ その他、必要と要請に応じて個別対応。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇評価

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート② 活動名：海産無脊椎動物の液漬標本登録作業

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2005 年

◇活動人数

- ・ 2 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 海産無脊椎動物の液漬標本の標本と保存液のチェックとメンテナンス。
- ・ 種別標本管理台帳への記入。資料受け入れカードとの照合。
- ・

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 独自予算なし。双眼実体顕微鏡常備、その他図書等の関連設備は、ほぼ自由に利用可。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ メールによる。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修 1 回（博物館における標本の価値、標本管理の意義の説明と実務実習）。
- ・ その他、必要と要請に応じて個別対応。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇評価

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート③ 活動名：タッチングコーナーにおける解説・観察指導

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 13 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ タッチプールでの生物の管理（主に来館者に触らせる）。

◇活動日

- ・ 不定期（ボランティアが希望する日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 和歌山大学と和歌山県の協定に従う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 和歌山大学側に一任。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規スタッフの加入ごとに数時間、現場でレクチャー。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇評価

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇課題と展望

- ・ 学生ボランティアの都合次第で活動が決まるので、当館としては行事等の予定に組み込みにくい。

◇その他

- ・ 一定の評価などがないと、学生ボランティアも積極的に参加しにくいだろう。

活動個別シート④ 活動名：植物さく葉標本の整理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 4 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 館収蔵標本の整理、おもに植物標本の貼り付け作業など。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 和歌山大学と和歌山県教育委員会の協定に従う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 和歌山大学に一任。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規スタッフの加入ごとに数時間、現場でレクチャー。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇評価

- ・ なし（和歌山大学に一任）。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 和歌山県立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1971 年 04 月 22 日

所在地

・ 〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号

公式サイト

・ <http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>

設立主体

・ 和歌山県

運営主体

・ 和歌山県教育委員会

設立目的

・ 和歌山県の歴史に関わる資料・文化財を収集・保管・調査研究すると共に、これを展示公開し、関連する事業を行うことによって、県民の文化向上に資する。

展示概要

・ 常設展「きのくにの歩み—人々の生活と文化—」は、きのくに—和歌山の 3 万年の歴史を概観できるようになっている。特別展は和歌山の歴史・文化財に関わるテーマにより、年に 1～2 回開催している。

活動概要

- ・ 地元で保管の困難な文化財を、積極敵に受託する。
- ・ 地域で密接に連携をとって、特別展の企画や調査活動を行う。
- ・ 図録、研究に要、館便り、年報、子供用パンフなどを発行。

延床面積

・ 6866.6 m²

全職員数（常勤職員）

・ 10 名（2005 年 1 月現在）（うち 2 名は近代美術館と兼務）

年間運営費

・ 71,350,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 14000 点（2004 年 4 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：学生ミュージアムボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2003年2月に結ばれた和歌山大学教育学部と和歌山県教育委員会との協定により、県の4つの博物館施設において同年3月下旬より、活動を開始した。文化振興の拠点及び生涯学習の場である博物館施設の活動を学生に体験させ、将来の文化の発展を支える人材を育成する人材を育成することを主な目的としている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 3名（2004年11月現在）
- ・ 男性：0名、女性：3名
- ・ 平均年齢21歳：男性 歳、女性21歳

ボランティア担当職員（2004年4月現在）

- ・ 部局名称：博物館学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ① 総合案内・展示解説。
- ② 音声ガイド製作補助。
- ③ 資料調査・整理作業補助。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 大学が学生を募集し、館が引き受けるスタイル。
- ・ 単位認定や交通費の支給は一切なし。
- ・ 学生は職場体験を、当館は文化財に理解のある教員・社会人の育成を、それぞれ期待している。

関連する出版物

- ・ 特になし。

関連するHP

- ・ <http://>
- ・ 特になし。

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし。

活動個別シート 活動名：①総合案内・展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003年

◇活動人数

- ・ 1名（2004年6月現在）

◇活動内容

- ・ 希望する来館者に対して、常設展の展示解説を行う。

◇活動日

- ・ 休日・祝日を中心として、ボランティアの都合の良い日（随時）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 各館の提出した各活動の募集内容をもとに、大学の構内に掲示（2～3名、1年間）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による事前研修（2日間）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 傷害保険に加入（大学が負担）。他はなし（学生の負担）。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 長期間のボランティアにはなりえない。活動日数が少ない。

◇その他

- ・ 県の教員採用試験でこの活動に参加したことが評価されるようになることが望まれる。

活動個別シート 活動名：②音声ガイド製作補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003年

◇活動人数

- ・ 1名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 館で自主制作している音声ガイドのシナリオ作成、ナレーション吹き込みなど（展示替えごとに実施）

◇活動日

- ・ 休日・祝日を中心として、ボランティアの都合の良い日（随時）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 各館の提出した各活動の募集内容をもとに、大学の構内に掲示（2～3名、1年間）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による事前研修（2日間）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 傷害保険に加入（大学が負担）。他はなし（学生の負担）。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 長期間のボランティアにはなりえない。活動日数が少ない。

◇その他

- ・ 県の教員採用試験でこの活動に参加したことが評価されるようになることが望まれる。

活動個別シート 活動名：③資料調査・整理作業補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 学芸員の調査研究活動の補助。

◇活動日

- ・ 休日・祝日を中心として、ボランティアの都合の良い日（随時）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 各館の提出した各活動の募集内容をもとに、大学の構内に掲示（2～3 名、1 年間）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員による事前研修（2 日間）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 傷害保険に加入（大学が負担）。他はなし（学生の負担）。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 長期間のボランティアにはなりえない。活動日数が少ない。

◇その他

- ・ 県の教員採用試験でこの活動に参加したことが評価されるようになることが望まれる。